



病児保育所おひさまルームは山形済生病院に併設しています。
感染予防対策の情報を発信していきます。

テーマ：抗菌薬（抗生物質）の正しい知識と使い方

抗菌薬（抗生物質）は細菌が原因となる感染症を治療するために広く使用されています。しかし今、抗菌薬の不適切な使用が原因で、抗菌薬が効かない、あるいは効きにくい「薬剤耐性菌」が増えており、世界中で大きな問題となっています。一方、新しい薬剤の開発には莫大なコストと時間がかかるなどの理由で、新たな抗菌薬はほとんど世の中に出てこない状況です。このままでは薬剤耐性菌が世の中に蔓延し、多くの人が命を落としてしまう恐れがあるのです。そのような事態を招かないためにも、私たち一人ひとりができることを行い、未来に使える抗菌薬を残していくことが求められています。

私たちができること その1：必要のない時は抗菌薬を飲まない

抗菌薬は細菌を壊したり、増えるのを抑えたりする薬であり、ウイルスが原因となる風邪やインフルエンザには効果を期待できません。そのため、風邪で病院を受診した際は必要のない抗菌薬を求めないようにしましょう。

私たちができること その2：処方された抗菌薬を正しく使用する

医師は、その時の診断結果に基づいて、私たち一人ひとりに合った抗菌薬の種類、飲む量、服用日数を決定します。そのため、処方された抗菌薬を正しく飲まないと、感染症がきちんと治らなかったり、生き残った細菌が薬剤耐性菌となってしまったりする恐れがあります。症状が良くなったからといって途中で飲むのをやめずに、処方された抗菌薬は医師の指示どおりにしっかり飲みきりましょう。また、他人の抗菌薬をもらったり、自分の抗菌薬をあげたりすることも絶対にやめましょう。

私たちができること その3：感染症を予防する

感染症にならないければ当然抗菌薬を飲む必要もなく、薬剤耐性菌を増やさないことに繋がります。日頃の手洗いやワクチン接種などの基本的な感染対策を行い、感染症の予防に努めましょう。



おひさまルーム保育室

山形済生病院 病児保育所

おひさま ルーム



F 990-0818 山形市沖町79番3

TEL・FAX: 023-674-8856

HP: <https://www.ameria.org>

開設日: 月曜日から金曜日
(祝日・年末年始除く)

8:30~17:00

対象児: 1歳から小学校6年生

配置職員: 看護師・保育士

